



長都第 87 号
平成19年4月27日

国土交通省道路局長 殿

長沼町長 板谷 利雄



中間的な計画の作成にあたっての意見の提出について（回答）

日頃より当町の道路行政の推進に対するご指導、ご理解を賜り、厚く御礼申し上げます。

つきましては、平成19年4月2日付国道企第114号にて依頼のあった標記の件について、別紙のとおり提出しますので宜しくお願い致します。

中期的な計画にあたっての意見

道路交通網は、住民生活の根幹をなすものであり、数あるライフラインの中で最も重要な社会資本である。

特に北海道は、私鉄の乗り入れ等がなく他府県に比し鉄路網が脆弱な中、広大なエリアを網羅する交通手段は、陸路によらなければならないことは言うまでもありません。

よって、本道地域の発展向上・活性化を図り、生活の安全・安心を高める道路交通網の整備は不可欠とし、次のような意見を申し上げます。

●重点化を進める上で特に優先度の高い政策について

当町の主産業は農業であり、食糧生産基地として特に生鮮野菜を大消費地（札幌市・千歳空港）に短時間で輸送し、消費者に届けなければならないが、札幌圏の人口集中化により、幹線道路の渋滞が進行し輸送の高速化を阻害している。

地域医療についても、通院はもちろん高次医療を必要とする急病・重篤の患者は、札幌市内の病院に搬送しなければならない状況であり、陸路による緊急輸送に頼らざるを得ないことから、道路は命をつなぐ役割を担っている。

冬期間の除雪延長は413kmにも及んでおります。短時間での雪処理や排雪に対する住民のニーズも年々高まりを見せ、冬期の経済・生活を支える除排雪費用は町財政を圧迫している。

道路橋梁についても、築40～50年を迎えるものが多く、経年による道路の傷み等、今後の維持管理が課題である。

- ・広域道路のネットワークの整備（道央圏連絡道路の早期完成）
- ・幹線道路の渋滞対策（国道274号の4車線化）
- ・冬期間除排雪の補助制度化
- ・道路橋梁の老朽対策

●効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

今後の地域を考える上で、近隣都市との役割分担等を図り、効率化を進めなくてはならない。また、活力を維持するためにも、移動手段として自動車に頼らざるを得ない。

このため、北海道経済の中心となる道央圏と他の圏域を結ぶ道路網の構築、広域交通拠点の道路整備を早急に進めることが必要である。

- ・道路事業のスピードアップ（集中投資・早期完成）
- ・高速道路料金の引き下げ

●その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関する意見

道路は、生活や経済活動を支える最も重要な施設である。このため、道路網の整備はもちろん重要であるが、道路及び老朽化した橋梁等を一定の水準を維持することが必要となってくることから、今後の維持費が懸念される。よって、そのための財源確保が重要である。